



探訪 長門のいしおみ ④2

俵山湯の家創設功労者

田村元一翁  
横山郁式先生  
頭彰碑

熊野山に移転した児童養護施設「俵山湯の家」の跡地（俵山湯町野田）に、並立するこの二つの碑が取り残されている。

題名の両者は、ともに「湯の家」創設（昭和24年開設）の功労者である。それぞれの碑の正面には碑額（横書き）と詩または俳句、背面には功績などが刻まれている。昭和37年（1962）の建立。

《正面の碑文》

田村元一翁  
村彰之碑

夜明けの窓を開きなば  
愛の光のさしそめて  
澄める御空に息吹する

あ、我等湯の家  
恵あれ  
松賓



横山郁式先生  
頭彰之碑

みなし児と  
枕並べて  
昼寝かな

荒神堂



田村翁は西深川上ノ原の人。「松賓」はその号。陸軍中將。戦後、市教育委員長、市社会福祉協議会初代会長などを務める。昭和36年没。76歳。碑に刻まれている詩は「俵山湯の家」の歌で、翁が作詞したもの。

横山先生は、俵山黒川の人。号は荒神堂。「湯の家」の初代家長を9年間努め、その基盤を固めた。昭和33年没。69歳。

これらの碑は、郷土の証言者ともいえるかけがえのないもの。大切にしたい。（正）

（寄稿・長門市郷土文化研究会）



こちら 119

なくそう  
「たばこ」による火災

灰皿は、ふちが大きく深めのものを使用し水を入れる



たばこの投げ捨ては禁止



捨てる際には、水をかけるなどして火を完全に消す

寝たばこをしない



長門地区中央消防署 22-0119 火災時の問い合わせ 22-1414